

(倫理様式 2-2-1)

医療安全管理者による入院患者の骨折件数減少に向けた取り組み

1. 研究の対象

2019 年度から 2023 年度までに当院で報告された全てのインシデント・アクシデント事例

2. 研究目的・方法

医療安全管理は、患者の安全と質の高い医療を提供し、重大な事故を防ぐために重要です。実際の臨床現場では、転倒・転落による骨折が大きな課題となっています。しかし、安全管理者の変更に伴う業務の見直しや事故分析方法、ラウンド方法の改善が実際の転倒件数や骨折発生率の減少にどのような影響を及ぼすかについては、十分に検討されていません。本研究は、医療安全管理体制の変更と新たな分析・ラウンド方法の導入による転倒・転落および骨折の減少効果を明らかにすることを目的とします。

当院の医療安全管理室では、インシデント・アクシデント報告システムを用いて転倒・転落の発生件数を数値化し評価しています。さらに、重大な結果である骨折の発生件数や転倒に関連する骨折率を算出し、対策の有効性を評価しています。

今回の調査には、対象患者さんの年齢、性別、転倒・転落の状況、骨折の有無、および対策導入前後のインシデント・アクシデント報告データを用います。

これらの研究は倫理審査委員会の承認後から 2027 年 3 月の間に実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報： 性別、転倒・転落の状況、骨折の有無、および対策導入前後のインシデント・アクシデント報告データ ※個人が特定される情報は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 医療安全管理室

研究責任者 常味 良一

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L：0270-27-3355 F A X：0270-24-3359